

基礎交付金事業実績書

団体名：とよまコミュニティ運営協議会

1 総事業費 2,898,189 円

2 事業内容

(1) 事業名 地域資源活用事業

事業費	332,957 円
事業内容	◆花いっぱい推進事業 場 所：各町内会、各団体花壇等 取組期間：6月～3月 内 容：緑化活動を通じて親睦と交流を図る。 ◆とめトレイル 場 所：翁倉山（津山町） 開催日：5月25日（木） 内 容：登米市で一番高い山である翁倉山へ登山。健康で明るい生活を送るために、必要な健康・体力づくりおよび地域住民相互の親睦と交流を図る。 参加者：19名（ガイド1名、職員3名）
事業成果	・取組み団体数、17団体（11町内会及び6団体）主要幹線道路脇花壇等の美化に寄与するとともに、植栽作業を通じて参加者相互の親睦と交流が図られた。 ・好天に恵まれ、参加者全員登頂することができた。山頂からの見晴らしも良く、北は気仙沼大島、南は金華山が一望できて達成感を共有することができた。

(2) 事業名 世代間交流促進事業

事業費	1,746,568 円
事業内容	◆第75回とよま地区市民体育大会 場 所：登米小学校 校庭 開催日：6月18日（日） 内 容：スポーツ行政区対抗による運動会競技の実施。新種目でとよまで誰が一番速いのかを決める、「とよー1グランプリ」を開催。大いに盛り上がった。 参加者：約800人 ◆とよま盆おどり大会 場 所：登米公民館駐車場及び大集会室 開催日：8月14日（月）

事業内容	内 容：とよま盆唄および囃子の伝承。事前に櫓を立て4年ぶりとなる、とよま盆おどり大会を屋外で開催したが、開始早々、雨が降り、急遽大集会室へ移動した。町内にあるダンススクール GUIDANCE (ガイドンス) による新盆ダンスも大盛況だった。 来場者：300 人以上 ◆第 50 回とよま文化祭（展示の部） 場 所：登米公民館（大集会室） 開催日：10 月 15 日（日） 内 容：北上こども園、登米幼稚園、小中高生、高齢者施設、登米市社会福祉協議会、各サークル、個人、団体、地元の造形作家さんの作品、秋まつり写真、公民館事業写真の展示。 来場者：430 名 ◆第 10 回とよま芸能ふれあいまつり（芸能の部） 場 所：登米公民館（大集会室） 開催日：11 月 12（日） 内 容：芸能団体、幼児、小中高校生、伝統芸能等、ベンチャーズ、ダンスなど含む発表の場。 参加者：741名（来場者：466人、出演者：235人、協力者：40人） ◆凧づくり交流・第 1 回 場 所：登米小学校 視聴覚室 開催日：1 月 26 日（金） 内 容：とよま凧あげ大会に向けて、登米小学校 6 年生を対象に手づくり凧を製作し、その過程を通じて完成した時の達成感や講師との親睦・交流を図る。 参加者：小学 6 年生 34 名（2 名欠席）、先生 6 名、凧づくり講師 5 名、職員 3 名 計 48 名 ◆凧づくり交流・第 2 回 場 所：登米小学校 視聴覚室 開催日：2 月 2 日（金） 内 容：凧の尻尾付けと校庭で凧あげ実施 参加者：小学 6 年生 35 名（1 名欠席）、先生 4 名、凧づくり講師 5 名、職員 3 名 計 47 名 ◆気軽に集まれる「空間」確保及びキッカケづくり 場 所：登米公民館（談話室・玄関・花壇） 開催日：7 月 4 日(火)～7 日(金)、12 月 12 日(火)～26 日(火) 1 月 17 日(水)、3 月 1 日(金) 内 容：全世代が集まれる仕組みを検討・整備。 鯉のぼり飾り、七夕飾り、ハロウィン飾り、クリスマスイルミネーション飾り、つるし雛飾り。 参加者：85 名
------	---

事業内容	◆地域づくりお役立ちセミナー① 会 場：登米公民館（和室） 開催日：7月22日（土） 内 容：テーマ「自分らしく生きる・生きていく」 ～今里哲シャンソン&トークショー～ 参加者：51名（スタッフ5名） ◆地域づくりお役立ちセミナー② 会 場：登米公民館（大集会室） 開催日：3月17日（日） 内 容：第一部：佐藤誠悦氏講演会「いのちを守る」 第二部：「令和6年能登半島地震緊急支援ライブ」 協 力：さとう音楽事務所 後 援： 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 来場者：約180名（スタッフ含む） ◆第10回とよまコミュニティグラウンド・ゴルフ大会 会 場：登米総合運動公園 開催日：11月23日（木・祝） 内 容：スポーツを通じて親子の親睦や世代間交流を図る。 参加者：59名
事業成果	・4年ぶりとなる、第75回とよま地区市民体育大会を屋外で開催。天候にも恵まれ、14地区の参加があった。世代を超えての親睦と融和が図られた。 ・あいにくの雨で屋内開催になったが、新企画の盆ダンスは大いに盛り上がった。中高生ボランティアのゆかた姿での縁日コーナーも好評であった。来年度はとよま盆おどりの事前練習会を実施するなどして事業を盛り上げていきたい。 ・幼児、児童、小中高校生、高齢者施設利用者の作品を展示するとともに、特定非営利活動法人奏海の杜の展示ブースを設置。一般からは公民館事業の参加者の作品を展示することにより、製作意欲の向上、興味、関心の向上につながった。高校生ボランティアによる縁日コーナー、ワークショップブースの設置、eスポーツを併せて実施。キッチンカーの出店もあり、集客につながった。コロナの制限なしでの開催となり、全世代が楽しめた文化祭になった。 ・子どもから高齢者まで幅広い世代での交流が図れた。初となるコミュニティビジネスにチャレンジし、コーヒーと油カスうどんを出店。大盛況だった。今後も若い世代を巻き込んで新たな企画で事業を進めていきたい。 ・風づくりを通して、講師と児童の親睦と交流が図られた。 ・季節感あふれる飾りや展示を通して日本の伝統行事や季節を感じる豊かな経験ができるよう開催。 ・クリスマスの飾り付けでは、こども達が製作する楽しさとワクワク感を感じることができたことが大きな成果であった。

	・LGBT、性の多様性など、深く重いテーマではあったが笑いあり、涙ありのトークと歌のショーになった。「心に響く歌声に感動した。とても良かった。またお会いしたい」などの感想が寄せられた。 ・東日本大震災から13年。能登半島地震支援・防災減災への備えを学ぶ講演会と緊急支援チャリティライブを開催。さとう音楽事務所の協力もあり186,930円の募金が寄せられ日本赤十字社石川県支部へ送金した。 ・小学1年生から93歳までの参加があり、親子の参加もあって、天気も良く賑やかな大会となった。町内会振興協議会にも案内を通知して3地区の参加があった。今後も地域住民相互の親睦と交流が図れるよう働きかけていく。
--	---

(3) 事業名 交流人口増加事業

事業費	253,505 円
事業内容	◆第59回とよま凧あげ大会 会 場：北上川右岸堤防 開催日：2月4日（日） 内 容：手作り凧の製作を通して創造意欲の向上に努め、市民相互の親睦を図るとともに親子のふれあいを深める。 参加者：約300人超え ◆とよま伝統芸能伝承会 会 場：仙台市、森舞台 開催日：仙台青葉能ツアー 5月20日（土）、登米能体験会 11月5（日）、とよま秋まつり 9月16日（土）～17日（日）、カッパハーフマラソン大会にて岡谷地南部神楽出演。新会員募集チラシ配布 12月3日（日） 内 容：県および市指定無形民俗文化財である登米町の伝統芸能の永続的な存続を図る。 参加者：延べ126人
事業成果	・伝統ある行事を通して、地域住民の融和と親睦が図られ、コミュニティの活性化につながった。 ・会員の高齢化、減少により各芸能団体の後継者不足で存続の危機にあるため、新会員募集を大きな目的として、チラシを配布。2名の新規会員の申込みがあった。登米能体験会のサポート。伝統芸能伝承会DVDを作成し配布した。

(4) 事業名 生活福祉支援事業

事業費	97,618 円
事業内容	◆仲間づくりサポート（青年団サポーター会議） 場 所：登米公民館 講座室 開催日：2月16日（金）、3月17日（日） 内 容：登米町を盛り上げたいと思っている若い世代を募集し、公民館事業の企画運営、活動に参加してもらえるサポーターを募集。「とよま応援サポーター青年団会議」を開催。 参加者：43名（2回計） ◆仲間づくりサポート（歌声かふえ♪） 場 所：登米公民館 講座室 開催日：2月23日（金・祝） 内 容：童謡、歌謡曲、懐メロなど誰もが知っている曲を参加者皆で歌うことにより、心身のリフレッシュと世代間の交流を促進。 参加者：26名
事業成果	・交通弱者の交通手段としてデマンド型乗合タクシー導入に向けた話合いを行なおうとしたが、登米町のニーズに合わず、開催できなかった。 ・登米町在住、在勤者に限らず市内で活動している「自称青年」を募集。若者の話し合いの場として、今後も継続して会議を開催していく。 ・講師のギターの演奏にあわせて大きな声を出して懐かしい歌を歌う。ストレス解消にもなり楽しい時間を共有することができた。男性の参加者も増え、世代間の交流が図られた。

(5) 事業名 先進地見聞研修事業

事業費	26,580 円
事業内容	◆先進地見聞研修 研修先：岩出山地区公民館（大崎市岩出山町） 開催日：9月26日（火） 内 容：岩出山地区の地域づくり委員会の取組みと有償ボランティア「かみのめささエール」の活動に関する先進事例を学ぶ研修会を実施。 参加者：15名
事業成果	・登米町も人口減少、若い世代の流出で高齢化が進んでいる。今後どう地域での取組みを考えていくかを学ぶことができた。今後の地域づくりに活かしていきたい。

(6) 事業名 コミュニティ組織運営事業

事業費	202,000 円
事業内容	◆町内コミュニティ組織に対する運営事業交付金の交付 交付日：6月3日（土） 内 容：運営協議会の構成団体である3地区コミュニティ推進協議会の課題 解決や交流の促進に向けた活動交付金を交付。 寺池地区コミュニティ：123,000 円 日根牛地区コミュニティ：47,000 円 葛籠淵地区コミュニティ：32,000 円
事業成果	・町内コミュニティ組織に対する運営事業交付金。地域住民の親睦と交流を図るために交付。

(7) 事業名 協議会組織運営費

事業費	238,961 円
事業内容	◆協議会組織運営に資するため以下の経費を支出した。 実施期間：年間 内容：地域づくり計画の実践に伴う人件費等に充当。 時間外勤務手当
事業成果	・各種会議、事業開催等により地域づくりの各種事業を円滑に運営することができた。